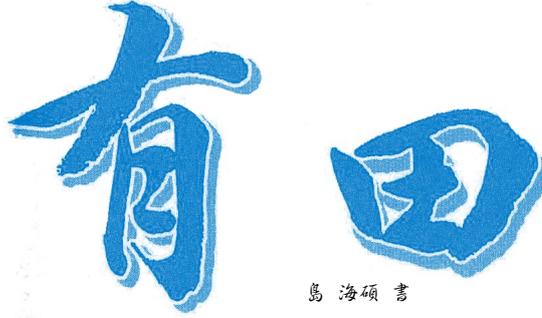


No. 2928

2019-2020年度

会 長 橋本 拓也  
幹 事 中元耕一郎  
R広報委員長 脇村 重徳



島海碩書

第2640地区  
例会日 毎週木曜日 12:30  
例会場 紀州有田商工会議所6F  
事務所 〒649-0304  
有田市箕島33-1  
紀州有田商工会議所2F  
有田ロータリークラブ  
Tel (0737) 82-3128  
Fax (0737) 82-1020  
創 立 昭和34年6月15日  
ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
e-mail [office@aridarc.jp](mailto:office@aridarc.jp)

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2019-2020年度クラブ方針

明日に繋がる活動

Activities for a brighter future



本日のプログラム

令和元年10月31日 第2929回

- ・クラブフォーラム  
「ローターアクト復活について」
- ・ソング: 「四つのテスト」

次回のお知らせ

令和元年11月14日 第2930回

- ・外部卓話: 有田中央高校 農業クラブの皆さん  
「地域に自信あり! 私たちが繋ぐ、地域そして未来」
- ・ソング: 「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告 (第2928回例会)

開催日 令和元年10月24日(木)

点 鐘 (橋本会長)

ニコニコ箱の報告 (岩橋SAA)

橋本君: 本日のIDM発表よろしくお願ひします。  
中元君: 本日のIDMの発表よろしくお願ひいたします。  
石垣(洋)君: 丸山リーダー君、本日の発表よろしくお願ひします。  
上野山(捷)君: IDM発表御苦労さまです。  
児島君: 前期IDM発表ご苦労さまです。  
中村君: 丸山さん、菅原さん、IDM発表よろしくお願ひいたします。  
岩本君: IDM発表の方々ご苦労様です。  
松村君: 先日、経済クラブのコンペ優勝させていただきました。  
上野山(栄)君: IDM発表よろしくお願ひします。  
橋爪(誠)君: リーダーの皆様、IDM発表よろしくお願ひいたします。  
井上君: 前期IDMお疲れさまです。  
川口君: 本日のIDMの発表、宜しくお願ひ致します。参考にさせていただきます。  
石垣(泰)君: 前期IDM発表よろしくお願ひします。  
木本君: 本日の前期IDM発表宜しくお願ひします。  
丸山君: 前期IDM1班発表させていただきます。1週間前よりロードバイクに乗っています。さっそく、初日に転倒しました。  
児嶋君: 前期IDM発表よろしくお願ひします。  
菅原君: 前期IDM発表させていただきます。宜しくお願ひ致します。  
北畑君: 本日、前期IDM発表よろしくお願ひします。  
岩橋君: IDM各リーダーご苦労さまです。

出席報告

(石垣(泰) 例会運営委員長)

本日の会員数31名  
(出席規定免除会員8名)  
出席会員数26名  
(出席規定免除会員8名)

会長の時間

(橋本会長)

「世界ポリオデー」

今日10月24日は世界ポリオデーです。今日の19:00～19:30、MyRotaryで「ポリオ根絶特別プログラム」が上映されます。都合の付く方は是非MyRotaryでご覧ください。



本日は、2014-15 上野山英樹会長年度のロータリーデーに、演題「最終局面を迎えるポリオとの戦い」を卓話して頂いた第2830地区PDG関場慶博(せきば よしひろ)さんのポリオに関するビデオを見て頂きます。

それでは、関場PDGのビデオ「ポリオから子どもたちを守るために」をご覧ください。



“本日は、世界と日本のポリオの現状と皆様にお伝えしたい事があります。残念なことは2018年と比較して2019年は世界的にポリオ発祥数が増加傾向にあります。WHOはポリオ根絶計画を発表し、根絶を目指しておりますが、その道は険しいと言わざるを得ません。地域別に世界のポリオ流行状況を見てみますと、中東・アフリカ・アジアにおい

てポリオの流行が報告されています。2019年に中国・インドネシア・ミャンマーでcVDPD(生ワクチン由来ポリオウイルス感染)の報告があり、決して遠い国の話ではありません。国立感染症研究所の予測調査によると2014年と2016年にポリオウイルスのワクチン株が環境水から検出されています。当時、日本は既に不活性ポリオワクチンに切り替わっていましたが、どこからか輸入された可能性があります。2018年日本には3,010万人の外国の方がいらっしゃいます。人の交流が増えればウイルスの持ち込みリスクも増大します。経口生ワクチン(OPV)を飲んで自分の子供がポリオになってしまい、「あの時嫌がっていたのに飲ませてしまった」「飲ませない方が良かった」と自分を責め続けた母親の話も耳にします。

今でいうと不活化ポリオワクチン(IPV)の追加接種を行わなかったことでポリオになってしまい、あの時打っておけばよかったと自分を責め続けているお母さんを絶対作りたくないと思います。ポリオという病気は、治療法がありません。そのため発症した方は一生ポリオと付き合っていかなければなりません。ポリオ患者を日本で今後1例も出さないためには、ポリオウイルスに対する十分な抗体価を維持することが必要です。不活化ワクチンは経年的に抗体価が減衰します。そのため閾値を下回る前に追加接種が必要です。しかし、多くのお母さんはそのことを知りません。それを伝えられるのは私達小児科医です。保護者が「知らなかった」「教えてほしかった」と後悔されることがないように、そして一人でも多くの方にポリオワクチンの追加接種をして頂きたいと思います。”

### 幹事報告 (中元幹事)

1. 第4回定例理事会報告『10月10日(木)』
  - ①10月、11月例会プログラム(承認)
  - ②9月試算表の件(承認): 月見例会等、例会を商工会議所以外で開催する場合も交通費は、次回より自己負担とする。
  - ③クラブ現年度収入・支出の中間報告及び前年度財務報告の件(承認): 年次総会で、クラブ現年度の収支と支出を含む中間報告を行う。前年度の財務報告は既に承認を受けているので行わない。
  - ④2018-19年度国際ロータリー第2640地区会計報告の件(承認)
  - ⑤地区大会(10/26、27)参加者と地区への登録料等の送金の件(承認)
  - ⑥地区大会表彰登壇者の件(承認): RI会長賞(上野山栄作君)、意義ある奉仕賞(川口健太郎君)
  - ⑦2640地区第2分区分 IM(11/10)の件(承認): 参加予定者12名(個人又は車を乗り合わせて行く)
  - ⑧月見例会(9/12)の決算の件(承認)
  - ⑨渡辺誠二氏(友誌所長)を囲む会(9/25)の決算の件(承認)
  - ⑩クラブフォーラム(ローターアクト)の件(承認)
  - ⑪その他
    - 1)指名委員会の開催について(承認): 10月31日(木)例会終了後に開催する。



- 2)国歌斉唱の時には、歌詞をディスプレイに写さず、国旗をみて歌う。(承認)
2. 地区より
  - ①「第7回日台ロータリー親善会議 福岡大会」の案内が届く(後方で参加者を募る)
  - ②地区大会について事前の案内が届く(地区大会参加予定者に資料を配付する)
  - ③「台風15号及び19号災害」義捐金についてのお願いが届く(木本委員長にメールでお知らせをする)
  - ④ワールド大阪ロータリーEクラブ久保治雄君発信文書への対応方策についてのお願いが届く(本日の臨時理事会で検討する予定)
3. ロータリー米山記念奨学会よりハイライト米山が届く(回覧)
4. 雑誌The Rotarianが届く(回覧)
5. 他クラブ週報(後方掲示)
6. 例会変更(後方掲示)

### ロータリー友誌 (北畑R広報委員)

#### 【横組】

- P3 RI会長メッセージ ポリオ根絶活動についてお話されています。10月24日は世界ポリオデーです。ロータリーがポリオ根絶活動を必ず実現させましょう。
- P7-P18 マーク・ダニエル・マローニーRI会長夫妻が来日されました。会長年度最初の海外訪問の地に日本を選びました。青森県八戸、福島県浪江と相双地方、東京、神奈川県鎌倉、愛知県名古屋を訪れ、様々な交流を行いました。
- P19-P23 特集米山月間として、7月27日～28日の2日間、モンゴルの首都ウランバートルにおいて、米山学友による第2回世界大会「絆inモンゴル」(モンゴル米山学友会主催)が盛大に開催されました。日本からも米山記念奨学会の理事長、名誉理事長やガバナー、ガバナーエレクト、パストガバナーを含む200人以上が出席、過去最大規模の学友会主催イベントとして新たに歴史を刻みました。次回は2021年6月に第3回世界大会が台湾で行われます。

#### 【縦組】

- P4-P8 2018年9月8日  
国際ロータリー第2630地区 四日市グループIM  
基調講演で三重大学副学長 西村訓弘氏の講演、「社会変化を的確にとらえることの重要性と地域イノベーションのおもしろさ」が開催されました。地域イノベーションの面白さや発想の転換で地域創生は可能などの講演内容が掲載されています。
- P21 卓話の泉で湘南厚木病院院長黒木則光氏がインフルエンザについての記事を掲載されています。
- P24 ロータリーアットワーク  
東京中央新ロータリークラブがインドの第3232地区(チェンナイ)のロータリアン一行102人が例会に訪れた様子が掲載されています。
- P25 ロータリーアットワーク  
和歌山城南ロータリークラブが姉妹クラブの韓国・釜山萊城ロータリークラブの会長の離就任式に参加した模様が掲載されています。

委員会報告

- \* 社会奉仕委員会(木本委員長)  
・「九州北部豪雨災害」義損金の御礼。募金総額25,000円。
- ・「台風15号及び19号災害」義損金のお願い。
- \* 米山記念奨学会委員会(岩本副委員長)  
成川(守)君、松村君、上野山(栄)君、嶋田(恵)君より、特別寄付をいただきました。成川(守)君には多額の特別寄付をいただきました。
- \* 青少年奉仕委員会(丸山委員長)  
臨時理事会の後、青少年委員会の方はお残りください。
- \* R財団委員会(松村委員長)  
児島良宗君より特別寄付をいただきました。
- \* 指名委員会(上野山(栄)委員長)  
次週10月31日、第1回目の指名委員会を例会終了後、経済クラブにて開催いたします。会長経験者の皆様、御出席よろしくお願ひします。

前期 I DMの発表

2019-2020年度 前期 I DM

テーマ

「委員会活動はどのように  
運営するのが良いか」

【第1班】



リーダー  
丸山 芳孝 君

開催日時: 2019年10月9日(水) 18時30分～20時30分  
開催場所: 橘家

第1班: 丸山芳孝(リーダー)、松村秀一(サブリーダー)、橋本拓也(会長)、成川守彦、橋爪正芳、石垣洋介、宮井清明、上野山捷身、児嶋正人 以上9名(敬称略)

テーマについての提案理由

今年度のクラブ活動方針において、委員会活動における基本方針は下記のとおりです。

- 1) 活動内容は委員会にて審議
- 2) 会員は必ず委員会の議論に参加
- 3) 作業は委員で分担
- 4) 関係する情報は共有化し、会員に適宜伝達

現実問題として以下の事があげられます。

- 1) 会員全員が委員会に参加すること自体大変難しい委員会もある。
- 2) 委員会の開催をほとんどの場合、例会終了後とするケースが多々見受けられ、多くの委員会が同じ日に設

- 定することになり、委員が掛け持ち参加になる場合が多い。
- 3) 委員会によってはFace to Faceでの会議は設定できず、メールやLineを使つての意見交換を行った。
- 4) 活動計画を作るに当たって、委員長だけが一生懸命になって作業をしている。

もっと会員の皆さんが参加して運営する形にするには、どのような工夫が必要なのか？  
多くの委員会委員が委員会活動に参加するにはどのような工夫があるか、意見を聞かせてください。

各意見

- ・今日(10月9日)のIDMは情報・研修委員会、会長、リーダーで打ち合わせができていなかった。委員会活動の引き継ぎができていなかったかもしれない。引き継ぎも大切ですね。誰が出席で欠席かも把握できていなかった。
- ・IDMを行う前に各委員会で打ち合わせができていなかった。
- ・今は新しい会員が多くいろんな面で段取りがわからない。経験者の助言が必要。委員会全員で連絡をとりあうことも大事。
- ・親睦委員会は行事が多いので年間スケジュールをきちんと作っておいて定期的に委員会を開く必要がある。また前年の親睦委員会から当番制にするというアドバイスがあった。
- ・委員会はあらかじめ年間計画を立てて定期的・計画的に開催し情報共有したり事業の打ち合わせをすると良い。
- ・入会して親睦委員会の委員になりました。しかし最初の年はその委員会が何をしているのかさっぱりわからなかった。→→→このことに対しての意見→→→(いままでは入会までに次年度委員会で何をどのようにするか打ち合わせ済み。)(委員会がほとんど開かれていない。)(メンター制があまり機能していない。)
- ・クラブ奉仕委員会がうまく機能している年とそうでない年がある。
- ・新人と他の会員とあまりコミュニケーションが取れていない。→→→(例会が自由席になっているから仕方がない。工夫が必要。)
- ・委員会の数を減らせば兼任する機会は減るので委員会を開催しやすくなる。
- ・委員会の中で役割分担を決めておくと良い。
- ・例会のテーブルを委員会別にする。食事しながら意見交換もできる。席の配置をSAAをお願いする。
- ・各委員はお互い密に連絡を取り情報を共有化してほしい。
- ・ロータリークラブは新幹線のようなもの。先頭車両が会長で大きなモーターで全体を引っ張る。続くそれぞれの車両が委員会であり各々モーターで車両を推し進める。最後尾の車両は幹事である。あまり機能していない(動いていない)車両があればその都度ムチを入れる。

【第2班】



リーダー  
菅原 佳典 君

開催日時:2019年10月10日(木) 18時30分より

開催場所:橋家3階

主管:情報・研修委員会 中村委員長

第2班:橋本拓也(会長)、中本耕一郎(幹事)、中村吉伸(情報・研修委員長)、菅原佳典(リーダー)、橋爪誠治(サブリーダー)、上野山栄作(直前会長)、岩橋行伸、脇村重徳、児島良宗、岩本道弘、井上修平、木本隆昭、嶋田恵、北畑貴行、大塚美晴 以上15名(敬称略)

・前期IDM開催にあたって

中村情報・研修委員長より前期IDMの概要を説明された後、本年度会長が提起された前期IDMのテーマ「委員会活動はどのように運営するのが良いか」について参加者がそれぞれの意見を述べ合った。

・委員会開催の意義について

- ▷会長の方針を反映するためには小まめに委員会は開かれるべきであり、会員同士の相互理解を得るためにも委員会を開催すべき
- ▷委員会活動は会員が直接クラブの活動に参加できる大事な機会であり委員会活動を実践することがロータリー活動そのものである
- ▷クラブ定款にはクラブの年次目標と長期目標の達成のため活動しなければならないと記載されている
- ▷各委員長は委員会活動を計画立案し理事会に報告する必要がある

・委員会開催の現状の問題点について

(委員会があまり開催されていない現状について)

- ▷ひとりの会員が複数の委員会に所属していることが委員会を開催(参加)するのを難しくしている要因だと思う
- ▷複数の委員会に所属することで時間の調整が難しく委員会の複数開催が難しくなっているように思う
- ▷委員会の数が多いように思う、地区も委員会の統合を図りつつある
- ▷委員会ごとの特質があり活動しやすい内容の委員会とそうでない委員会がある

・今後の委員会について(問題点の解決案)

- ▷いくつもの委員会に所属すると、すべての委員会活動に参加することは無理がでる
- ▷委員会活動は「はじめ」が大事だと思う
- ▷クラブ運営の会議・奉仕部門の会議などメンバーが話し合いをできる場を大枠で設けてはどうか

- ▷現状の委員会を続けていくのもよいがRIが打ち出す委員会に自クラブの委員会も対応させていってはどうか
- ▷電子媒体(SNS、メール、ファクシミリなど)のツールを活用した委員会の開催も考えてみてはどうか
- ▷有田RCの組織の簡素化、統合などを考える時期が来ているのではないか
- ▷委員会の数を減らし掛け持ちの委員会を減らせば会員の時間的な負担を減らすことができるのでは
- ▷各委員会に主体性を持たせ自主運営を促すのも活発な委員会活動につながるのでは
- ▷会員数にあったクラブ運営を考えるのも大事
- ▷委員会の所属人数を減らすのも方法

・入会間もないメンバーから

- ▷例会などでの仕事をこなすのが精いっぱいであるが委員会があれば積極的に参加したい
- ▷複数の委員会に所属していることに驚いている
- ▷所属して間もないので委員会活動そのものがわからない
- ▷まだ例会に参加するだけで精一杯な状況で委員会のことがわからない

閉会・点鐘

(橋本会長)

日程	11月の例会プログラム
11/7(木)	休会
11/14(木)	外部卓話 有田中央高校 農業クラブの皆さん 「地域に自信あり！ 私たちが繋ぐ、地域そして未来」
11/21(木)	外部卓話 小川 裕康氏(紀美野町副町長) 「住民活力でつくるまちづくり ～空・山・川のふれあいのある 美しいふるさと～」
11/28(木)	会員卓話 大塚 美晴君



国際ロータリー第2640地区 2019-2020年度 地区大会  
 2019年10月26日(土)27日(日) 於：ホテル・アゴーラリージェンシー大阪堺4F

RI 会長代理歓迎晩餐会



本会議



2018-2019年度ロータリー賞  
 会長特別賞：プラチナ

有田RCが受賞。  
 上野山（栄）直前会長が代表して  
 受賞されました。

意義ある奉仕賞

有田ロータリークラブ 殿

貴クラブの優れた社会奉仕活動を特、ここに表彰いたします  
 2019年6月21日

国際ロータリー第2640地区  
 2018-2019年度  
 ガバナー 樫知直尚

意義ある奉仕賞

有田RCが受賞。  
 川口健太郎2018-2019年度 社  
 会・青少年奉仕委員長が代表し  
 て受賞されました。

